

平成26年8月24日  
今週のベストショット



雁レクD 奈多サンデーズ 対 新町パイレーツ戦

初回から積極的な走塁で進塁を試みるパイレーツ小黑選手を刺しに行くサンデーズ田中俊弘捕手。

写真：三苦ホーネッツ 洲上祥太

雁レクD 奈多サンデーズ13安打4本塁打で快勝！

新町パイレーツ（3勝4敗1分）00400 4 吉田●-小黑

奈多サンデーズ（6勝1敗1分）21272 14 木下○-田中(俊)

HR：田中(俊)2、秋山、木下(奈多サ) 2BH：吉田(新町パ)秋山(奈多サ)

盗塁：小黑(新町パ)土田、長浜(奈多サ)

暗雲が立ち込める中始まった試合は、一回裏奈多サンデーズは、走者を一人置いて四番田中(俊)選手が本塁打を放ち2点を先制する。しかし、4点差で迎えた三回表パイレーツは、三連打などで同点に追いつく。流れが一気にパイレーツに傾いたと思われたが、それでも止まらないのが去年一位の実力。その裏、サンデーズはこの回先頭の秋山選手の本塁打であっさり勝ち越すと、続く四回裏には、九番木下選手の満塁本塁打も飛び出し、打者一巡の猛攻で7得点を上げた。五回表は走者を出すものの木下投手が要所を締め、裏の攻撃では、四番田中(俊)選手の今日二本目となる本塁打で勝利を飾った。毎回得点を挙げたサンデーズ打線は今後、各チームの驚異となるであろう圧巻の攻撃力を見せた試合であった。(記事、写真：三苦ホーネッツ 洲上祥太)



曇天の中試合開始。



投げては完投、打っては満塁本塁打を放った木下選手。



一回表、バントで揺さぶるパイレーツ升井選手。



一回表WPの際にすかさず三塁を狙うパイレーツ小黑選手。



悪天候の中最後まで投げ抜いたパイレーツ吉田投手。



一回裏、本塁打を放った田中(俊)選手。



二回裏、適時打を放つサンデーズ川上選手。



本日の主役、左から本塁打トリオのサンデーズ田中(俊)選手、木下選手、秋山選手。

## 奈多グラウンド エースの貫禄発揮！

三苦フレンズ（0勝7敗）00000 0 山口●ー佐藤

奈多クラブ（7勝2敗）2070× 9 今林瑠生○ー安河内

3BH：安河内（奈多ク） 2BH：上野、今林賢人、今林祐将（奈多ク）

先攻三苦フレンズは奈多クラブのエース今林瑠生投手の立ち会がりに乗じ、四球、失策で無死二三塁の絶好の先制機を迎えるが、ギアを上げた今林投手は、圧巻の三者連続三振でフレンズのクリーンアップをねじ伏せる。エースの投球に応えたい奈多クラブ打線は、先頭の今林賢人選手が技ありのライト前で出塁すると、盗塁、犠打で三進し、WPであっさり先制点。続く四番安河内選手が右越え三塁打、五番上野選手が左翼線二塁打と強打で追加点を挙げ、技と力の見事な攻撃を見せた。一方フレンズ打線も必死の反撃を試みるが、抜群の球威と時折緩急を用いる今林投手の前に安打を放つことが出来ない。四回表、先頭の山口選手のバットが快音を発したが、後続は今林投手の球威に屈してしまった。続く五回表には、本降りとなった雨中で制球に苦しみ始めた今林投手から三四球を選び、逆襲への期待を抱かせたが、後一步及ばず無念の1安打完封負け。ピンチに動じず、悪天候に対応する今林投手がエースの貫録を示した一戦となった。（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺信彦、写真：松下照夫）



一安打完封、奈多クラブ今林瑠生投手。



豪快なスイング、奈多クラブ四番安河内選手。



三回裏、二塁打を放つ今林祐将選手。



再三の堅守を見せたフレンズ生野遊撃手。



切り札、フレンズ二宮選手。

## 雁レクE 完全試合を逃すもキレッキレの投球にバットが空を切る

ブルーマーリンズ（0勝9敗）0000000 0 綱脇●、横山ー井上（広）

新町ウインズ（5勝4敗2分）201200X 5 藤田○ー永渕

3BH：藤田（新町ウ）

曇り空で試合がスタートしたが、一回裏ウインズはブルーマーリンズ先発綱脇投手の四死球から得たチャンスに押出しとWPで2点を先制すると、三回裏に代わった横山投手から藤田選手が中越え三塁打を放ち、七番城戸選手がサードのグラブを弾く（サードがグラブで弾く？）タイムリーで1点追加。四回裏には二死から二三塁として藤田選手の右前2点タイムリーで合計5点を奪う。守っては、初回からウインズ先発藤田投手の投球が冴えまくり、七回一死まで一人のランナーも許さない。しかし途中から雨足が強くなってきたせいか代打井上（幸）選手に痛恨の四球を与えてしまい、完全試合はならなかった。しかし気を取り直して残りをしっかり抑え、見事ノーヒットノーラン達成！ 毎回の12奪三振も見事。（記事：レッドサンデーズ 八島久徳、写真：前田篤史）



天気が心配される中、試合開始。



ウインズ先発の藤田投手。



ブルーマーリンズ先発の綱脇投手。



一回裏、一番長岡選手惜しくも盗塁アウト。



一回裏、WPの間にホームインする四番野田選手。



センターオーバー三塁打の藤田選手。



キャッチャーフライを確実に捕る永瀨選手。



三回裏から途中登板、ブルーマーリンズ横山投手。



四回裏、ライト前2点タイムリーの藤田選手。



レフトフライをさばく谷山選手。



ライトライナーをキャッチする足立選手。



遊ゴロで全力疾走するも惜しくもアウトの永瀨選手。



惜しくも最終回到四球を出し、完全試合を逃すもナイスピッチング！

## 青松園A 両チーム合わせて25安打！雨中の乱打戦を制したのは！？

雁ノ巣ライナーズ（8勝2敗）0308 11 有馬○ー吉田

ソルトベスターズ（3勝7敗）1042 7 鶴野●、中村（耕）ー酒井

HR：中口、久保田、鳥越（雁ノ巣）、荒尾（ソルト） 3BH：鳥越（雁ノ巣）

2BH：明瀬（旭）（雁ノ巣）、酒井（ソルト）

今にも降り出しそうな曇り空の中、プレイボール。初回、先攻のライナーズは一番明瀬（旭）選手が二塁打で出塁。絶好の先制機だったが、後続が打ち取られ無得点。その裏ソルトベスターズは、二番酒井選手の二塁打、四番田中（広）選手のヒットでチャンスを広げると、五番鶴野選手の打球が相手エラーを誘い1点を先制！しかし二回表ライナーズは、七番鳥越選手のレフトへの三塁打を皮切りに5連打で3点を返すすぐさま逆転に成功。このままライナーズを勢い付かせたくないソルトベスターズは三回裏、ヒットで塁を埋めると八番荒尾選手の満塁HRで3-5と試合をひっくり返す。逆転に次ぐ逆転と緊迫したゲーム展開だったが、この辺りから雨が強くなり始め、ソルトベスターズ鶴野投手のピッチングに狂いが生じ始める。四回表、ライナーズ先頭の鳥越選手にヒットを許すと、ワイルドピッチと四球等でピンチを招き、三番中口選手に痛恨の一発を浴びてしまう。さらに五番久保田選手にもホームランを許し、この回一挙8点を奪われてしまう。その裏、必死の追い上げを見せたソルトベスターズだったが、2点を返すのが精一杯だった。（記事、写真：三苦三球会 中村 元）



ソルトベスターズ先発の鶴野投手。



一回表 ライナーズ一番明瀬（旭）選手の打球はセンターへ。



快足を飛ばし二塁を陥れる明瀬旭選手。



ライナーズ先発は有馬投手。



一回裏、ソルト二番酒井選手が二塁打で出塁。



一回表、四番田中（広）選手もライト前へ運ぶ。



ソルトベスターズが相手エラーで幸先良く先制。



二回表、ライナーズ七番鳥越選手の打球はレフトへ！



打球の行方確かめながら三塁へと走る！



二回表、ライナーズ集中打で3点を奪い逆転！



これ以上点はやれない。酒井捕手の懸命のブロックでアウト！



三回裏、ソルト八番荒尾選手のHRで再逆転！



荒尾選手ホームイン。「やられた～」と言ったかどうか？  
ライナーズ吉田捕手。



四回表、ライナーズ九番池内選手の絶妙なバントヒット。



四回表、ライナーズ三番中口選手のライトへの大きな当たり。



犠牲フライかと思われた打球は、何とホームラン！



ほぼ試合を決定付ける一発に笑みがこぼれる中口選手。



コンディションの悪いグラウンドで懸命に守る真弓監督。



強くなった雨が、鶴野投手のピッチングに影響したのか？



ライナーズ、五番久保田選手の2ランで、この回8点目！

## 第16週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第16週、8月24日は途中から雨が降る中4試合が行われました。

雁レクDの新町パイレーツ対奈多サンデーズ戦は、初回からサンデーズ打線が火を噴く。四番田中俊弘選手の2HR、三番秋山選手の3安打1HR、九番木下選手の今季初安打が満塁HRなど4発を含む13安打で4-14のコールド勝ち。サンデーズといえば豪快なHRが売りだが、出場した試合ではコンスタントに単打を連ねる七番鳥羽選手の活躍も見逃せない。

奈多グラウンドの三苦フレンズ対奈多クラブ戦は、力の差をまざまざと見せつけた奈多クラブが0-9の勝利。今林瑠生投手は五回で10奪三振、許したヒットは1本だけ。奈多クラブ一番今林賢人選手は三打数三安打と切り込み隊長ぶりを如何なく発揮。そして長打力のある中軸へと続く打線は投手力と共に脅威。付け入る隙は機動



力と守備力か？

雁レクEのブルーマーリンズ対新町ウインズ戦は、ウインズ藤田投手のワンマンショー！投げては七回一死から与えた四球のみのノーヒットノーラン。打っては三塁打と2点タイムリー。危なげなく0-5でウインズの勝利。ブルーマーリンズの井上広大捕手は、その強肩で2つの捕殺を披露。途中リリーフの横山党首も代わりっぱなを打たれ失点したが、残り2イニングは三者凡退に取るなどポテンションの高さを披露。先発で見たい。

青松園Aの雁ノ巣ライナーズ対ソルトベイスターズ戦は、ライナーズ今回も壮絶な打ち合い。ソルト1HRを含む9安打、ライナーズは3HRを含む16安打、逆転に次ぐ逆転で見ている方は面白かったでしょう。最終回到雨の影響からか制球を乱してしまったソルト鶴野投手を突き一挙8点を奪ったライナーズが11-7で勝利。

毎週末のように雨の降る8月も残り一週です。

夏の甲子園も三重対大阪桐蔭の決勝を残すだけとなりました。

栄冠はどちらの頭上に輝くのか？

WSLの栄冠もどのチームに輝くのか？

今週の記事は、八島の都合で当日のうちに送ってもらいました。ホーネッツ、三球会、ジャガーズ、レッドの編集部員さん、有難うございます。

無事福岡を発つ前に編集後記まで書き終わりました。

私事ながら、これより夏休みでカナダトロントにて大好きなBlue Jays対Red Sox戦とYankees戦を観戦に行ってきます。

本場メジャーの興奮を肌で体感して、このHPに還元できたらと思います！